

第60回を迎えた上南戦は

謝辞を述べる金田耕一さん

2019年(令和元年)8月5日発行 第437号

編集・発行

上智学院総務局広報グル

東京都千代田区紀尾井町7-1 www.sophia.ac.jp

[Facebook] www.facebook.com/SophiaUniversity [Twitter]@SophiaUniv_JP

7月6日、

10号館講堂

文京区との共催シンポジウム

が御父の謎

において、シンポジウム 一る」が開催された。20

各分野の専門家に 父の墓が発見さ からシドティ神 で行われた。 文京区との共催 れた縁により、 このシンポジ

共催する意義を述べた。 ち、このシンポジウムを の加藤裕一氏が挨拶に立 文京区教育委員会教育長 冒頭、曄道佳明学長と

シンポジウムの前半 伝記の原著者である

パオロ神学院教授のマリ く」を行った。トルチヴ にまつわる謎と誤解を解 基調講演「シドティ神父

ながら、イタリア語でシ ドティ神父について解説

「シドティ神父の謎に迫 14年に文京区 |ある。 伝記の監訳を務め |ィ神父の本格的伝記の翻 訳出版を記念したもので ざまな分野の専門家が登

|ら、そして、カロリーナ シタン史研究者の立場か 川村信三本学教授がキリ 流史研究者の立場から、

ィア師はスライドを示し

|調査委員会を立ち上げた ・カパッソ氏がイタリア

イタリア・カターニア聖 立場から、それぞれ遺骨 大学教授は考古学の立場 のか」と題する講演が行 本当にシドティのものな

シドティの遺骨と判断し 心女子大学教授が国際交 後半は、小川早百合聖 よる全体討論

ィの復顔なども展示さ また会場では、シドテ

| 0人近い参加者は、 れ、来場者は興味深く見 のか」が行われ、活発な に耳を傾けていた。 議論が展開された。

一と、多角的な考察が開陳 史料を通しての分析な やバチカン機密文書館等 は何のために日本へ来た 最後に、登壇者全員に ーシドティ

世界を話そうシリ

更

「若者とTICADのあゆみ」を語る

外交団TICAD委員会|的など概要を説明した。

において、 在京アフリカ | るTICADの狙いや目

される第7回アフリカ開 | では、はじめに1993

発会議(TICAD7)

|年以来6回開催されてい

8月28日から横浜

|で開催|あゆみ||と題した講演会

使は、

「若者とTICADの

一ど、取り組むべき課題を

担う人材育成の促進な

が開催

一議長を務める。



7月12日、 「世界を話

奥田千尋 三井彩加 宮﨑佑香 山澤美咲 山口哲司 吉田理恵 吉田シャロ 金田耕一 中谷葵 髙橋愛音 坂上惠 福島映子 ドイ 理 悠太 英語学科 下野藍平 柴田美帆 ツ語学科 細井里美 鈴木梓 今井陽菜 戸塚 松田芽久 五十嵐果望 箕田真依子 小池麻優 大貫瑞夏 北浦あかり 櫻澤耀平 経営学科 島﨑千夏 篠原由香 リエラ・ナカノ 学科 間みなみ 物質生命理工 地美優 永井沙紀 科

あゆみイスパニア語学 なの石川秋桜子 フランス語学科 藤井ち 香野夢友 宮越かなみ 6月25日、 曄道佳明学 | た鎌田薫早稲田大学前総 盟副会長に就任 長が日本私立

重責の全うは容易なこと

変光栄なことだが、その にあたって、「就任は大

|る在り方を議論していき |社会から期待が向けられ |おいて、私立大学が果た |る。変革期にある社会に ではないと認識してい

2019年度

7月5日、2019年

学部から推薦された16

8人に賞状と副賞7万円

成績優秀者168人に授

受賞者は次のとおり

田汐織

社会学科

平賀香乃 井関やあめ

国際教養学 | 玖 倉邉海史 富樫里羽 吉野梨沙 | 学科 岡村洋輝 岡田陸

| 結成された団体で、現在

は125大学が加盟して

|の有力私立大学によって

上村直紀 奥野一樹

猶井咲喜

田代航

千年雪奈 機能創造理工 | 51年に本学を含め国内

大原

西須聡美 小平佳奈

那 三浦美理 相嶋孝亮

ビラ

今井美 | 田治関西学院大学長がそ

れぞれ就任した。

私立大学連盟は、19

失業率の改善や

オンユ・キム

チサト・グレ

ース・|ティアニンティアス 井 木村奈 クララ・デュイ・クリス

一元学長が会長を務めたこ

|いる。過去には故大泉孝

河合晴香

ウリム・シ

、ン 宮 | 嵐士 那須敬太 山下光 | 興と向上を図り、学術文

佐久 | 大 小松翔 柴田祥太郎

化の発展に貢献すること

を目的に活動している。

曄道学長は副会長就任

小林秀佑 秋元弘太

羽賀絵 | 学科 三田稜一朗 川口

の協力により、大学の振

ガブ | 上聖 香川陸 情報理工 | とがある。加盟大学相互

鈴木穂乃花

後藤 | 若林美優

泉美裕

曄道学長から一人 勤理事長からの祝 て金田耕一さん 人に賞状が手渡 、佐久間 から謝 日隈夢子 奈良めぐみ 小出有紗 荻野美櫻子 石井美織 英文学科 吉岡大輝 中田陽奈 国文学 ロマーヌ・リボー 有名 国際関係法学科 高橋理 村上友太 藤井結 美 櫻井史朗 山本愛

イブキ・

れるもの。今年度は、

)認められた2年次から

から挨拶があり、

護学科 島千奈

川西諭学生センター長が

学業優秀賞の選考経過を

緒

長谷川里奈 史学科

科

フランス文学 野村美並 増田夏帆 ショウコ・エイ 地球環境法学科 経済学科 語学科 関野佳介 ロシア語学科

7 長谷部絵莉 髙田姫歌

に生きることがで

高継健人 ポルトガル

|私立大学連盟の副会長に|事会において、後任の会|すべき役割を明確化し、 月に開催される定 長が、一般社団法人日本 | 長の退任に伴い、臨時理 就任した。任期は来年6 長・副会長が選任され これまで会長職 「時総会 | た。なお、連盟会長には にあっ

もう一人の副会長には村 長谷山彰慶應義塾塾長、

たい」と抱負を述べてい

|換留学生や、高校生も来 を積極的に展開する企業 |に対し、投資を促す機会 た。 |になれば」と展望を述べ て、「アフリカでの開発 れるTICAD7につい 説明した。 中のカメルーンからの交 また、間もなく開催さ

アフリカ地域を | 議論が交わされた。 |課題や、今後のアフリカ は、TICADの成果と | 勢などについて活気ある |場。講演後の質疑応答で 諸国における開発への姿 会場には、本学に在籍